

『慈覚大師1150年御幾縁』を縁として 群馬、栃木、茨城三県仏青で合同企画を実施

会報 群青

第6号 平成27年 3月31日発行

【発行所】高崎市中央尾町1261 天台宗群馬教区 宗務所内
【発行人】群馬天台青年会
【編集】部 広報部
【デザイン・印刷】(株)アイデア エンタープライズ



▲群馬教区宗務所で行われた 研修会講師の山形宗湛師

祖師先徳續仰大法会の第一期として、平成二十六年まで慈覚大師一五十年御遠忌法要が全国で厳粛かつ盛大に営まれており、また、この大法会を契機に、慈覚大師の東国巡錫に縁の深い群馬、栃木、茨城の北関東三県仏青では大師に関する企画として、法要や研修などを合同で執り行ってきました。

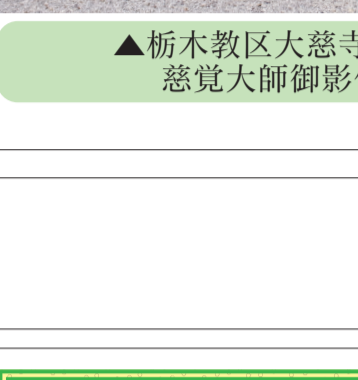
慈覚大師が生誕し、修行なされた栃木県では、平成二十六年十月二十三日に栃木県天台仏教青年会(源田清弘会長)を中心に、茨城・群馬の三県の青...

年僧も出仕し、大師ご修行の古刹である栃木教区大慈寺さまを会場に「慈覚大師御影供」が奉修されました。御影供とは高僧の御影(像)へ札供養する作法であり、その次第・所作・音用ともに習熟を要するため、法要に先立ち五月二十三日には栃木教区定願寺さま、八月二十九日には群馬教区宗務所にて、叡山学院で声明の指導に当たっている延暦寺一山理院院御住職山形宗湛師をそれぞれ講師にお招きし、研修会並びに習礼が行われました。



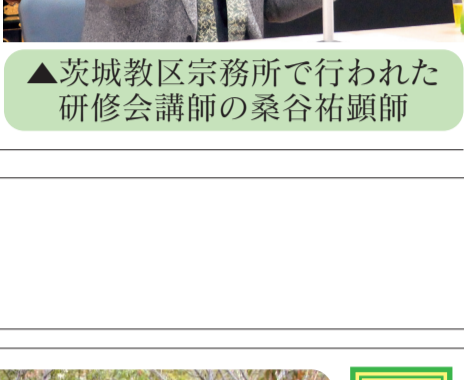
▲慈覚大師御真影に 茶菓を献ずる様子

法要の内容や所作の意義、実修するうえでの注意点を丁寧な解説いただき、法要を行うにあたり理解を深めることが出来ました。また、音用の習礼も同時に行い、法要に参加できない会員にも研修の場の機会になりました。



▲栃木教区大慈寺での 慈覚大師御影供

今回、三県にまたがる青年僧が一堂に会したことはおそらく大師のお導き、有難き仏縁でした。今後も教区の垣根を越えて交流と研鑽を積んでまいりたいと考えています。



▲茨城教区宗務所で行われた 研修会講師の桑谷祐顕師

御巢鷹山慰霊登山

御巢鷹山に日航機が墜落して平成27年で早30年を迎えます。この節目にあたり犠牲者の慰霊のため、遺族の心の安穩のために何か出来ることはないか検討しております。その際はご協力をよろしくお願いいたします。



五二十名の犠牲者を生んだ日航機墜落事故が本年で三十年目を迎えます。現在の仏青会員の中にはその事故の後に生まれ、どんな事故か、もしくはそれ自体を知らない会員も増えてきました。

群馬仏青の慰霊登山は、事故から二十五年経った平成二十二年の青柳会長代から始まり、その時は他宗の方々と協力して仰ぎの現場となる「昇魂之碑」での法要、慰霊塔・納骨堂のある「慰霊の園」での納骨、上野村にある天台宗の中正寺での慰霊札拝行などで行っています。昨年年度は平成二十六年十月八日に慰霊登山を行い、当会会員に加えて、井藤圭順連盟代表、土屋直樹埼玉仏青会長にも賛同し同行していただき、総勢三十二名という非常に多くの方々に参加していただきました。登山口から「昇魂之碑」まで急な山道を約三十分登り、碑の前で回向法要を行い、卒塔婆・花・線香をお供えしました。その後「慰霊の園」でも鎮魂を願い、般若心経をお唱えしました。

冒頭にも触れましたが、年が経つにつれ、徐々に日航機墜落事故の記憶が薄れ、風化が進んでいます。群馬仏青の慰霊登山は、この群馬という地で起こった大惨事を忘れることなく教訓として生かすこと、そしてその事故で亡くなった多くの魂を回向すること、今後第五回の登山となります。今後とも、この重要な目的を忘れることなく、後世に伝えていければと考えております。

Table with 3 columns: 行事内容 (Event Details), 期日 (Date), 会場 (Venue). Lists various events like general assemblies, seminars, and pilgrimages across different temples and regions.

平成二十六年度 活動報告

叡山講福聚教会65周年 平和祈念沖繩奉詠舞大会



誦道を通じて天台宗のみ教えを宣布する叡山講福聚教会の創立六十五周年を記念する大会が十月三十日に沖縄で開催され、群馬仏青もこの大会にスタッフとして会員十四名が参加しました。

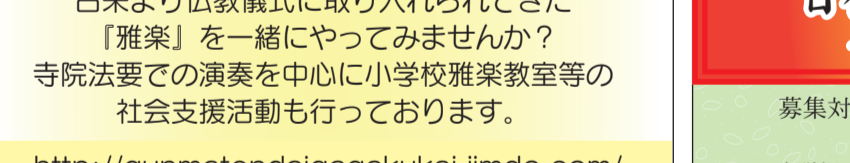
大会の会場となった沖縄コンベンションホールの会場準備、会場での案内、詠唱舞踊の発表者入退場の誘導などを神奈川仏青ともにお手伝いさせていただきました。また、当会会員が多数所属する群馬天台佛青会により雅楽披露をさせていただきました。当日は、七十一年前の沖繩戦の本果出身犠牲者を追悼する摩文仁の丘「群馬の塔」の前で追悼回向させていただきました。数多くの犠牲者の上で築いてきたこの平和を今後大切にしなければならぬと考えてさせられました。

天台宗主催の「天台青少年比叡山の集い」が平成二十六年八月三日から五日まで執り行われました。群馬からは研修生十二名が参加し、当会から三名がリーダーで子供たちの指導に当たりました。

合い、馴れない山道を一生懸命歩き、続いての世界平和の集いでは研修生達もそれぞれ「平和について思いを馳せていました。夜の営馬(キャンファイヤー)でリーダーで子供たちの指導に当たりました。夜は懇親を深め、終わる頃に笑顔があらわれていました。

修了式では、思わず涙を流す研修生も。最初は不安そうだった研修生も、最後には、本当に楽しかったと笑顔で言ってくれました。研修を通して子ども達の成長を見ることができ、とても充実した三日間でした。

平成26年度 新規会員のご紹介



南前橋部 圓満寺 野平修真, 南前橋部 光琳寺 林祐基, 東前橋部 東壽寺 青柳典雅

結集を群馬で!!

平成30年に全国結集を群馬で開催するべく現在連盟に交渉しております。当会は平成31年に創立50周年を迎えることになり、結集を開催することで当会員の活動意欲の向上や、50年の歴史を積み上げてきた諸先輩への感謝の機会にたく考えております。秋頃には決定されると思いますので、決まりましたらご報告いたします。

群馬雑学会司茶集

古来より仏教儀式に取り入れられてきた「雑学」を一緒にやってみませんか? 寺院法要での演奏を中心に小学校雑学教室等の社会支援活動も行っております。

http://gunmatendaigagakukai.jimdo.com/ 《お問い合わせ先》仏青事務局まで。

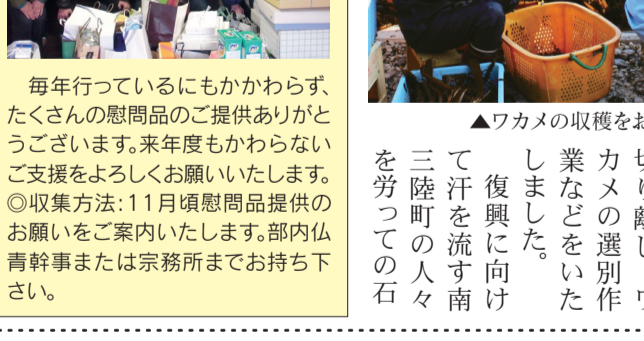
群馬教区青少年研修会 研修生募集!!

日付:8月6日~7日(木・金) 会場:珊瑚寺(前橋市)

募集対象:小学生3~6年生または、仏青会員で当日参加される方のご子息(1~2年生)

◆詳細:案内は6月に各寺院へご連絡いたします。 ◆一緒にスタッフも募集します!! 男性女性ともに研修生の面倒見てくれる方協力下さい。

震災復興ボランティア活動



埼玉仏青(土屋直樹会長)が東日本大震災被災地である南三陸町石浜地区にて行っている復興支援活動に当会からも参加させていただきました。四月のワカメ漁では七名、七月の埼玉仏青主催の石浜祭のお手伝いには四名が参加いたしました。南三陸町では春先からワカメ漁が最盛期を迎えますが、四年前の大津波により漁具が壊滅的に壊滅してしまいました。埼玉仏青は震災時、現場から現地で支援活動を行い、以来ワカメの種付け、収穫に参加し、復興支援に尽力されてきました。この度、縁を頂戴し、その漁のお手伝いをさせていただきました。ただ、より漁師の方々の指導のもと、荷積みやメカブリの切り離し、ワカメの選別作業などを行いました。復興に向けて汗を流す南三陸町の人々を労つての石



▲南三陸町の方へ100万円寄付



▲石浜祭りに地域の人々と

当会製作散華の頒布(ご案内)

◆申し込みについて:原則として春彼岸・秋彼岸の前(年2回)に印刷し納品いたしますが、随時ご相談に応じます。お申し込みは、当会ホームページに散華の紹介ページがあります。サンプル、連絡先も記載しておりますのでそちらを御覧下さい。

◆お問い合わせ先:西前橋部 長松寺内 長靖順

◆散華の特色について: 1.各寺院だけのオリジナル散華です。(寺名、山号等、また手書きのものも印刷可能です) 2.法要儀式には勿論、記念品としても使用できます。(晋山、落慶、参拝等の記念として) 3.収益金を寄付...災害義援金・ボランティアの資金となります。



↑デザインが如輪観音 オリジナル散華が制作できます ↑5色でワンセットとなります 型番で梵字や仏画など印刷可能

HPのお知らせ

群馬天台青年会HP http://gunjou.jimdo.com/

検索『群馬天台青年会』 QRコードからホームページにアクセス!



天台仏教青年連盟HP http://www.t-y-b-a.com/

天台宗群馬教区宗務所HP http://gunmatendai.jp

編集後記

写真撮影や文章を考えたたりパソコンをいじったりいろんなたちと付き合っている人たちがそんな中、編集部へおいでよ!!

新聞作り等に携わらせて頂きましたが、記事を作成集する難しさや文字だけを伝える大変さを痛感した二年間でした。 H